

市民の理念

- 1 地域社会の主体者として、権利と義務の自覚を深める。
- 2 生活共同体の一員として、積極的に市政に参加する。
- 3 新しい社会の創造をめざして、連帯の行動を強める。
- 4 責任と協働の市民生活を求めて、つねに前進をはかる。

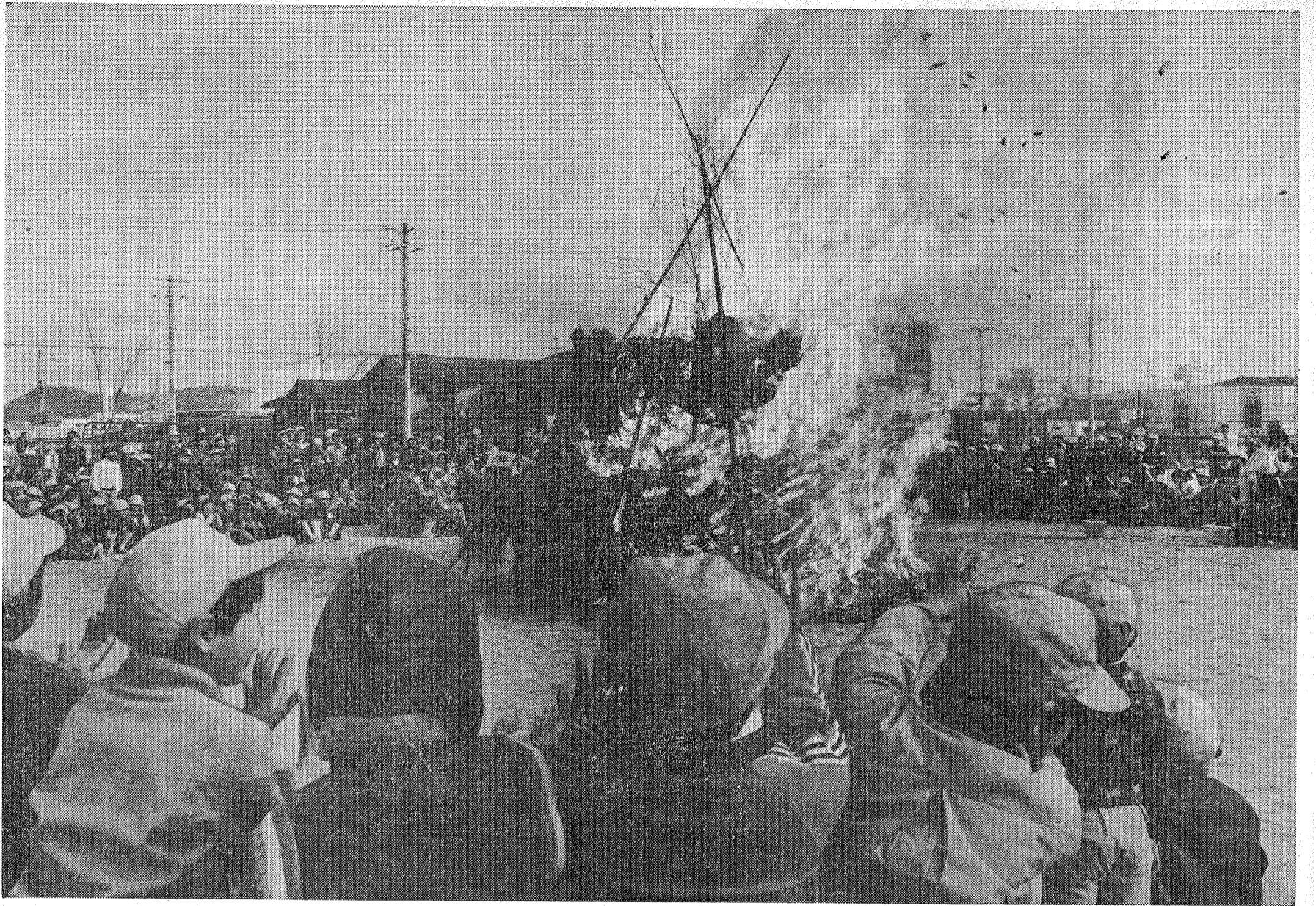
発行 八幡市役所
八幡市八幡園内75
TEL (075) 983-1111
編集 市民部広報課

たわや 広報

第185号
55年2月

市の理念

- 1 つねに市民の立場に立って、人間優先の施策を進める。
- 2 改善と創造に徹して、躍動する施策を進める。
- 3 確かな展望に基づいて、未来につながる施策を進める。
- 4 自治の認識を深めて、市民参加の施策を進める。



左義長 習字の上達を願う

左義長・三徳杖(さんとくじょう)「一」で「二」で「三」など、なごころ、古くから正月十五日に、門松や書き初めなど、焼く行事として行われてきたものである。時代の変化とともに、次第に見られなくなってきたのはさびしいが、八幡第二小学校では、この古来のしきたりを全校児童に体験させようと、四十七年の開校以来この行事を続けている。ことごとちは、それぞれの書き初めを燃やして、習字の上達を願っていた。(写真：八幡第二小学校)

住宅地域内カラオケ使用は禁止

府条例

住宅地域内カラオケの使用は、騒音の発生による近隣住民の生活への支障を防止するため、府条例で禁止される。八幡市では、この条例に基づき、住宅地域内でのカラオケの使用を禁止する。市役所では、この条例の施行に向け、関係機関と連携して、住民への周知徹底を図る予定である。

住宅地域内カラオケ使用は禁止
2月5日から施行
府条例

八幡市では、住宅地域内でのカラオケの使用を禁止する。この条例は、騒音の発生による近隣住民の生活への支障を防止するためのものである。市役所では、この条例の施行に向け、関係機関と連携して、住民への周知徹底を図る予定である。

市民の声を予算に反映

多くの意見や要望が
55年度予算に関する懇談会

市民の声を予算に反映させるため、市役所では、55年度予算に関する懇談会を開催した。多くの市民が参加し、様々な意見や要望を述べた。市役所では、これらの意見を参考に、55年度予算の編成に反映させる予定である。

みんなの力で 福祉の前進を
新年度予算に関する懇談会から

福祉の分野では、高齢者の生活支援や障害者の就業支援など、様々な課題がある。市役所では、市民の力を借りて、福祉の分野での前進を図る。新年度予算では、福祉の分野での予算配分を増やす予定である。

電動の除じん機を設備 森の排水機場
排水能力の向上を図る

森の排水機場では、電動の除じん機を設備し、排水能力の向上を図る。この設備は、排水の効率を高め、環境への負荷を軽減する効果がある。市役所では、この設備の導入に向け、関係機関と連携して、工事の進捗を図る予定である。

市長の日記
山中 末治

市長の日記には、日々の市政運営の状況や、市民との接点などが記されている。市長は、市民の声を聞き、市政の発展に努めている。日記を通じて、市民に市政の現状を伝えることも目指している。

秋の心

秋の心は、静けさと成熟さを感じさせる。市役所では、秋の心を感じさせるイベントを開催する予定である。市民は、このイベントを通じて、秋の心を感じ、市政の発展に貢献できる機会を得ることができる。

市の現勢 (55年1月)

人口	63,714人
男	31,935人
女	31,779人
世帯	18,877世帯
面積	23.51km ²

第五小校区決まる

第三小一美楼・八望・泉・笹谷の東部分
第五一雄徳・指月・長沢・笹谷の西部分

八幡市立第五小学校の校区は、2月24日(日)午後1時～4時、市役所4階大会議室で開催された。校区の決定は、市民の意見を参考に、関係機関と連携して行われた。

市民と消防のつながり

消防のつながり

市民と消防のつながり。消防は、市民の安全を守るために活動している。市民は、消防の活動を支援し、安全な生活を送ることができる。

“婦人学習会”を開催
—市連合婦人会—

市連合婦人会では、婦人の幅広い教養を高め、住みよくなるための学習会を開催しています。2月の学習会は、次の要領で行いますので、お気軽にご参加ください。

日時…昭和55年2月22日(金)午後2時～4時
場所…市役所4階大会議室
講座内容…市政について
講師…八幡市長

あなたもお気軽に

